

香川県感染症週報

2022年32号(19/Aug/2022 発行)

Infectious Disease Weekly Report Kagawa

Reported by Infectious Disease Information Center Kagawa

◆ 2022年 第32週(8/8~8/14)の感染症発生動向(届出数)

■ 全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(高松 1件)
- 3類感染症 なし
- 4類感染症 なし
- 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(高松 1件)

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症
(高松 5,034件、小豆 124件、東讃 898件、
中讃 3,866件、西讃 1,295件)

修正 第31週 4類感染症 0→1 (レジオネラ症 中讃 0→1)

■ 定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたりの人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告が続いています。調理や食事の前、トイレの後には、こまめに手洗いをしましょう。食品は十分に加熱し、調理器具は清潔に保ちましょう。
- RSウイルス感染症の報告が増加しています。咳エチケットや石けんと流水による手洗いを心がけましょう。

香川県新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止対策期 (香川県 BA.5 対策強化宣言)

- ◎手洗い・手指消毒、咳エチケット、こまめな換気等の感染症対策を徹底しましょう。
- ◎「大人数・長時間の飲食」、「マスクなしでの会話」等、感染リスクの高い行動は避けましょう。飲食店等は、感染対策の徹底されている店を少人数で利用しましょう。
- ◎混雑する場所への外出は控えましょう。

マダニ媒介感染症 (日本紅斑熱・SFTS等)に注意!

- 農作業、山や草むらでの野外活動時は、肌の露出を減らす・虫よけ剤を使用する等、マダニに噛まれないよう対策をしましょう。

2022年第32週の感染症発生動向調査による報告患者総数は145人で、前週(223人)の65.0%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(4.4→2.8)で減少している。
2. RSウイルス感染症の報告は、県全体(1.5→0.9)で減少している。
3. 手足口病の報告は、県全体(1.1→0.5)で減少している。
4. 突発性発しんの報告は、県全体(0.4→0.4)で横ばいで推移している。
5. 感染性胃腸炎(細菌)の報告は、県全体(0.1→0.3)で増加している。

今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	2.8人	4.4人	62.1%	4.7人	3.6人	○↘	○↘	○→	○↗	○↓	○↘
② RSウイルス感染症	0.9人	1.5人	58.5%	0.5人	1.1人	△↘	△↘	○↘	△↘	○↘	・・
③ 手足口病	0.5人	1.1人	43.3%	0.5人	3.2人	△↘	△↘	・・	△→	△↘	△→
④ 突発性発しん	0.4人	0.4人	110.0%	0.4人	0.5人	△→	△↘	・・	・↘	△↘	○↗
⑤ 感染性胃腸炎(細菌)	0.3人	0.1人	200.0%	0.2人	0.5人	△↗	・・	・・	△↗	△↗	○↗

記号の説明 今週の流行状況: ○流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散发 ・患者発生報告無し

前週との比較: ↑急増 ↗増加 ↘減少 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
なし						

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	備考
Respiratory syncytial virus	咽頭	2022/8/3	高松市	RSウイルス感染症	遺伝子検査	
Rhinovirus	咽頭	2022/8/1	東讃	不明熱	遺伝子検査	

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症 耐性遺伝子検出情報

菌種名	検体	検体採取日	地区	臨床診断(症状)	耐性遺伝子	備考
なし						

気象週報 第32週の平均気温: 31.1°C(過去の30年の平均気温: 29.0°C) 平均湿度: 67.7%

